

日本とタイの

絆

◎特集

日本のODAによって
建設された橋梁群

チャオプラヤ川に 架かる15の橋

チャオプラヤ川に架かる橋は
バンコク都市圏だけでも21本。
うち15本が日本の政府開発援助
ODAによって建設されています。
人と物を運び、地域を繋ぐ
チャオプラヤ川の橋。
日本とタイの絆をも繋いできた
橋梁群にフォーカス！



2014年12月に開通したノントブリ1道路橋

チャオプラヤ川に辿る 日本とタイの交流史

アユタヤ交易時代から
現代のODA支援まで

国際協力機構（JICA）タイ事務所
水上貴裕

タイの首都バンコクを流れ、
人々の生活と密接に関わってき
た河川、チャオプラヤ川。古く
はその水運が行き交う人々の交
通網として利用されてきました
が、今日ではその上に多くの橋
が架けられ、道路や鉄道により
他都市、ひいては他国へも繋
がっていく輸送網の一部として
機能しています。

バンコク都市圏だけでもその
数は21本に及びますが、うち15
本が日本の政府開発援助（OD
A）により建設・整備されてき
たことをご存じでしょうか。古
くは1971年のプラ・ピンク
ラオ橋への融資契約締結から、
2014年のノントブリ1道路
橋完工までを考えれば、およそ
43年間にも及ぶロングランの歴
史となります。15本の長さを全
て合計するとおよそ5893
m、円借款（日本からタイへの



ベトナム道路間、本線延長（約施工：（南北第1工区）大林組、nunt Construction、北第3工区鹿島建設、東急建設、



開通：2006年9月
大成建設、西松建設、NKK、and Construction 合併

着工：2001年11月
施工：鹿島建設、東急建設、& Construction 合併

融資）総額は全部で1198億円に上り、建設に際してはその殆どに日本企業が参画してきました。仕事や生活、旅行において、タイの人々だけでなく多くの日本人もこれらの橋を利用してきたことを考えると、まさに計画、資金調達、建設、その後の活用と、全ての過程において日本が深くかかわってきた橋であるといえます。

さらに、チャオプラヤ川に係する日本の支援はこれらに留まりません。2011年、バンコクを記録的な洪水が襲い、多くの企業や民家が被害を受け、タイ国内のみならず世界中の流通経済にも影響が生じました。この被害を受け、日本がタイに支援したのが、アユタヤ県にある二つの水門。これらは洪水被害を鑑み、無償資金協力（返済の義務がない贈与）というスキームで支援されましたが、この建設・整備も日本の企業が担い、その技術を活かしました。なお、この水門を建設した際、同時に日本製のポンプ車が10台供与されましたが、このポンプ車が、昨年チェンライ県で発生したタムルアン洞窟遭難事故で現場に急行し、日本の活動を世界に知らしめたポンプ車になったのです。

古くは室町時代まで遡る、日本とタイの交流史。その起源もこのチャオプラヤ川上流に交易のため、アユタヤ日本人町が形成されていったことから始まりました。その黎明期から現代に至るまで、600年にわたる日本とタイの関係は、まさにこのチャオプラヤ川に沿って、その歴史を辿ることができるのです。



アユタヤ地区での洪水対策

2011年のチャオプラヤ川洪水を受けて、日本はその支流のひとつパサック川で緊急支援を実施。水門2基とポンプ車10台を供与し、水路の護岸工事を行いました。2018年にはこのポンプ車がタムルアン洞窟遭難事故の現場へ急行しました。



水門

無償資金協力（2012年 25.50億円）協力内容：パサック川（チャオプラヤ川支流）への水門2基&ポンプ車10台の供与ならびに水路の護岸工事
贈与契約締結：2012年8月 水門完成：2015年8月
施工：前田建設、日立造船（ポンプ車はクボタ社製）

※JICAとタイ国日本人会共催の「チャオプラヤ流域の橋と治水事業視察」ツアー（8月7日開催）のレポートを来月号に掲載します。

チャオプラヤ川の橋 Map マップ



ODA関連の橋梁 (14橋)

※このうちプミポン橋は北橋・南橋の2橋に分かれており、橋梁としては15本が存在する。

その他の橋梁 (6橋)



パトムタニ橋

第8次円借款 (1981年 約58億円)
橋の長さ: 239m
着工: 1983年2月
開通: 1984年9月
施工: 住友建設

プラ・ナンクラオ橋

第8次円借款 (1981年 約58億円)
橋の長さ: 329m
着工: 1983年2月
開通: 1985年7月
施工: 住友建設



ラマ4世橋 (バックレット橋)

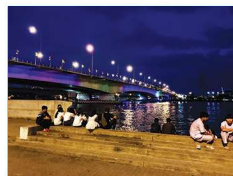
第22次円借款 (1997年 約68億円)
橋の長さ: 416m 着工: 2003年12月
開通: 2006年12月
施工: (第1工区: 橋梁・東西道路約7.7km) 大成建設、Sino-Thai Engineering and Construction Public Co., Ltd. 合併、(第2工区: ラチャブルック道路約6.1km) 三井住友建設

新プラ・ナンクラオ橋



ノントブリ1道路橋

第32次円借款 (2010年 約73億円)
橋の長さ: 460m
着工: 2012年5月
開通: 2014年12月
施工: 三井住友建設、イタリアンタイ共同企業体



ラマ7世橋

第13次円借款 (1987年 約55億円)
橋の長さ: 290m
着工: 1990年1月
開通: 1992年9月
施工: 大林組、住友建設、タイ大林合併



ブラ・ピンクラオ橋

第1次円借款 (1971年 約13億円)
橋の長さ: 280m
着工: 1971年8月
開通: 1973年9月
施工: 大林組、住友建設



メモリアル橋

補修: 第7次円借款 (1980年 約42億円)
補修工事: 1983年11月~1984年12月
橋の長さ: 234m 着工: 1929年12月
開通: 1932年4月
施工: Dorman Long & Co.Ltd、住友建設



ラマ3世橋

第17次円借款 (1993年 約75億円)
橋の長さ: 476m
着工: 1996年8月
開通: 2000年3月
施工: ED.Zublin AG、Wayss Freytag、Stecon 合併



ラマ9世橋

第9次円借款 (1982年 約259億円)
橋の長さ: 781m
着工: 1984年10月 開通: 1987年12月
施工: 日立造船、東急建設、チョーカンチャン、神戸製鋼、日商岩井

カンチャナビセーク橋

ドムアン空港 ラマ5世橋

第20次円借款 (1995年 約72億円)
橋の長さ: 320m 着工: 1999年11月 開通: 2002年6月
施工: 三井住友建設、イタリアンタイ合併
ナコン・イン道路: ティフノン街道~首都外環状道路区間(約12km) 着工: 2001年4月 開通: 2004年4月
施工: 三井住友建設、イタリアンタイ合併

第21次円借款 (1996年 約100億円)
ラチャブルック道路: ペットカセム道路~ラタナチ18km) 着工: 2000年12月 開通: 2004年4月
チョーカンチャン、タイ大林合併、(南北第2工区) Chai M.C. Construction、Sermsanguan Construction 合併、(南 Unique Engineering & Construction PublicCo., Ltd. 合併



プラ・ポックラオ橋

第7次円借款 (1980年 約42億円)
橋の長さ: 212m 着工: 1981年11月
開通: 1984年12月 施工: 住友建設

プラ・チャオ・タクシン橋

詳細設計: 第2次円借款 (1974年 約3億円)
建設: 第3次円借款 (1977年 約57億円)
橋の長さ: 224m 着工: 1979年2月
開通: 1982年5月 施工: イタリアンタイ、Dragages de Travaux Publics Co., Impresa Generation Di Construction

クルンテープ橋

建設: 戦後賠償金
補修: 第17次円借款 (1993年 約75億円)
橋の長さ: 350m 着工: 1954年8月 開通: 1959年6月
施工: 富士自動車工業 補修工事: 2000年3月~2002年2月
補修内容: 全橋塗装、電気開閉システム設置、開閉接続部交換など 施工: ED.Zublin AG、Wayss Freytag、and Stecon 合併

プミポン橋

第22次円借款 (1997年 約148億円)
北橋・橋の長さ: 582m
着工: 2001年10月
開通: 2006年9月
南橋・橋の長さ: 702m
着工: 2001年10月
施工: 北橋・南橋共に Sino-Thai Engineering
東西高架接続道路
長さ: 約2,200m
開通: 2006年9月
Unique Engineering



王宮
ワット・アルン(暁の寺)
アイコンサイアム